

## 建設部会活動 報告書

中国本部建設部会

事業名称	公益社団法人 日本技術士会 事業委員会/中国本部建設部会 主催 新たな CPD 制度説明会・第 2 回建設部会講演会		
実施時期	2021 年 11 月 20 日（土）13:00～16:35		
実施場所	会場と Teams を使った Web 配信（ハイブリッド講演会） 広島、島根の両拠点会場での集合形式と自宅等での個人視聴の併用		
参加人数	広島会場 29 名、島根会場 6 名 自宅等での個人視聴 123 名                      合計 158 名	CPD	3 時間
事業内容 と感想	<p>新たな CPD 制度説明会・第 2 回建設部会講演会を、以下のとおり実施した。</p> <p>講演①（13:10～14:10）演題「新たな CPD の実績の管理及び活用の仕組みについて」 講師：中川裕康氏（日本技術士会 技術士制度検討委員長）</p> <p>講演②（14:20～15:20）演題「持続可能な国土づくりと社会資本整備について」 講師：美濃部雄人氏（国土交通省中国地方整備局副局長）</p> <p>講演③（15:30～16:30）演題「平成 26 年 8 月の八木・緑井地区における復興事業について（雨水渠築造工事の紹介）」講師：油野裕和氏（広島市下水道局局長）</p> <p>広島会場と島根会場での集合研修と自宅等での個人視聴等を併用したハイブリッド講演会形式で開催した。</p> <p>大田本部長からの開会あいさつに続き、中川講師からの新たな CPD 制度の概要と活用の仕組みについて説明があった。CPD を積み上げるだけでなく、業界が一体となった活用制度を構築するベースが整ってきた。次いで、中国地方整備局美濃部副局長から、降った雨は流すか貯めるかしかできないが、受け流す手段としての流域治水の説明があった。激甚化する豪雨災害が多発する昨今において喫緊の課題である。最後に、広島市下水道局油野局長から、八木・緑井地区の豪雨災害からの復興事業として雨水渠築造工事に関する説明があった。過去の災害の名残の固い転石を克服した難工事であったことが理解できた。</p>		
	 大田本部長	 中川講師	
	 美濃部講師	 油野講師	